令和３年度第２回　瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会

議事録

日　　時：令和３年８月２日（月）　午後６時から
場　　所：瑞浪市役所西分庁舎　１階会議室
出 席 委 員：山内　正雄（委員長）、澤井　芳美（副委員長）、平中　学、柴田　洋子、
：辻本　紀み子、大宮　康一

※ 委員６名中６名全員の出席であり、瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会規則第６条第２項の規定により、本会議は成立。

事　務　局：瑞　　浪　　市　　長　水野　光二
事　務　局：まちづくり推進部長　小木曽　昌弘
事務局職員：市　民　協　働　課　長　加藤　博史
事務局職員：まちづくり支援係長　渡辺　裕
事務局職員：ま ち づ く り 支 援 係　中筬　高弘

次　　第：

１．市長あいさつ
２．委員長あいさつ
３．活動報告
・令和２年度　夢づくり地域交付金通常事業
・令和２年度　夢づくり地域交付金ステップアップ事業
４．審査
・令和３年度夢づくり市民活動補助事業（追加募集分）
５．閉会

【次第１　市長あいさつ】

皆さんこんばんは。コロナ禍ということでなかなか収束の兆しが見えない状態が続いております。もしかしたら、オリンピック、夏休みが終わった頃に第５波がやってくるのではないかと危惧しております。

今、高齢者の皆様はワクチン接種率が９割を超えておりますので、ある程度安心できるのかなと思っています。しかし、若い方々はまだワクチン接種は進んでおりませんから、やはり人一倍きを引き締めないといけないところなのですが、若年層はかからないだとか、重症化しないんじゃないかといった考え方が多くなってしまっている気がします。またこれから、若年層向けにクーポン券を発送していきますが、届いたとしても、そういった傾向が強いですから、なかなか予約をすぐにしていただくことが簡単ではないと思っており、大変心配しているところでございます。当市の議員さんには、若い議員さんも多いですから、まずご自分たちが接種していただき、周りの若い方々にも接種を呼び掛けて欲しいとお願いしているところです。

こういったコロナ禍で厳しい状況のなか、委員の皆さんにはお集まりいただきありがとうございます。

夢づくり地域交付金に基づく活動についても、コロナの大きな影響を受けていまして、それぞれの活動が自粛・延期の連続で、せっかく培ってきた、築いてきたまちづくりのパワーが、消えようとしているようにも見えてしまいます。来年はワクチンの効果などもあり、大丈夫になるものと期待しています。ですから、来年については、元のように各地域で活発なまちづくり活動をしていただけると、また市民の皆さんも、大変喜んでもらえると思います。また市民活動も活発にしていただけると良いのかなと思っています。そのためには、我々がしっかり支援させていただく必要があります。今回の審査会は、昨年度の報告と、新たな市民活動の申請についての審査の案件がございますので、ぜひ慎重審議をお願いしたいと思います。例えば、本日報告がございます、大湫町の総合振興計画については、大変素晴らしい内容となっていまして、この計画が実現されれば、大湫町のみならず、瑞浪市全体にとっても大変有意義なものになります。また、市民活動補助事業についても追加募集について申請がありました。この申請については、以前からお話のあったものでもあります。コロナ禍でなかなか実現しなかった事業でもありまして、今回この市民活動補助事業として提案があるようです。瑞浪市で様々なことを実現したい、活性化したいとの思いが強い団体ですので、市としても協力できるものはしてきたいと思っているようなところです。

それでは、これでわたくしの挨拶としまして、本日は慎重審議をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

【次第２　委員長あいさつ（山内委員長）】

市長のご挨拶にもあったように、若い世代にも新型コロナウイルスが猛威を振るっているわけですが、ちょうど私の孫も同じような年齢になります。また関東のほうに居るものですから、会わないことも検討すべきとも思いました。

また、市長のお話にあったようにこのようなコロナ禍の中、なかなか事業はやりづらいわけですが、追加募集に参加いただける団体もあったということですので、ぜひとも我々が、そうした団体が事業が適正に行えるように、アドバイスであったり、意見などをできるように議論をしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【次第３　活動報告】

令和２年度　夢づくり地域交付金通常事業

≪事務局よりまとめて報告≫

令和２年度　夢づくり地域交付金ステップアップ事業

≪大湫地区≫

※報告後

〇委員

まず、意識改革をするのにすごく大変だなと感じました。若手は若手でも移住された若手の方が地元の方とやり取りをしているという話でしたが、どういった方がリーダーになってやられたのかといったことや、町民アンケートを取られたといったことでしたが、どうやって管理などされたのか。またアンケートも何パーセントくらい回収できたのかといったこともお聞きしたいです。

●大湫地区

まず意識改革については、区長さん方に本当にお願いをしました。やはり地域をまとめていらっしゃるのは区長さんなので、その区長さんに意欲をお伝えして、区長さんに協力をいただきました。区長さんが推薦する若手といったお墨付きをもらったことで、さらに若手に協力をいただくことが可能なり、町全体として改革的なところまで協力いただきました。また、できる限りで良いので、お時間がない方でも、SNS 等でエールを送ってくれるだけでも良いといったようにハードルを低く設定しました。さらに、チーム T シャツを作ったりして、意識共有も図りました。

足立会長や小栗会長のアドバイスももらい、同じ釜の飯を食うといったようにバーベキューをしたりもしました。

アンケートの件ですが、アンケートの回収率は 80%近くはありました。遠くにお住いの方や、足の悪い方もみえるなかで、このように多くのアンケート協力をいただき、大変ありがたいなと思いました。

こどもアンケートといったものも行いました。手書きで大湫の好きなところを書いてもらったりして、未来の大湫の担い手というものも発掘できたのではないかと思っています。

〇委員

全住民、若手も含めて、実際賛同いただいた方はどのくらいいたのか、すべてでない場合は、やはりそういった難しさを感じたのか、今後は賛同いただけなかった方々を巻き込んでいくことが課題になろうかと思いますので、現状の把握状況を教えてください。

●大湫地区

そうですね。会議になかなか参加しずらいといった方もみえて、なかなか全員が参加いただけなかったと思っています。また、やはり静かに暮らしたいという若手の方もおられて、意識の統一は難しい面もありました。今後の活動でゆっくりと協力いただきたいと思っています。同時に町のリーダー的若者が出てきたぞといった認識も町に広がり、最初は面倒くさいです。とおっしゃっていた方が、最後まで

一緒に手伝ってくださった方もいて、何が起こるか分からないなと思った場面もありました。
昔からある区といったものについて、やはり機能していて、お願いごとをするについても区を通して行わせていただくとスムーズにいったように思います。

〇委員

私の経験からすると、実はリーダー的ではないような、寡黙な方でも実はリーダー的素質がある方がいらっしゃるのかなと思っていますので、そういった方をどうやって掘り起こすかがポイントになるのかなと思いましたので、質問させていただきました。

〇委員

こうした成果物について、大変素晴らしいものが出来上がったと思っています。こういった成果物については、この成果物が出来上がる過程も、一つの成果物であろうとも思っています。そこでご質問いたしますが、この振興計画ができるまでに、町民全体を見渡されてみて、町をなんとかしたいといったような意識などが垣間見えたり、率直に皆さんの意識はどのように変化があったとお考えですか。

●大湫地区

当然この計画に対する様々な意見があるとは思っていますが、こうした計画ができたことによって、それを目標として皆で活動していくんだというような、目標、指標ができました。そのように皆で動いていけるように、これからの様々な会議などについても、意識していきたい、意識していただけると思っています。一人だけでもできることや、皆でやっていくことなど盛り込んでありますので、少しでも前進できるように活動していけると思っています。

【講評（市長)】

ご苦労様でした。大変明快で分かりやすいプレゼンでした。ステップアップ事業として、当時の委員さんの大きな期待を背負って、承認され、実施された事業です。委員さんがおっしゃられたように成果物ができたということは、大湫町にとって、それがひとつの目標だったわけですが、その過程での皆さんの一年間の取組みが大変な財産・成果になったのではないかと思っております。皆さんの絆や信頼関係がこの計画を実行していける原動力になるのではないかとも感じております。今のプレゼンのお話を聴いていますと、そうした絆・信頼関係のある仲間ができたように思います。

成果物の内容についても大変分かりやすくまとまっていますし、この重点取組みなどは、市としても協力できる部分もあると思いますので、できることからといったことではありますが、着実に実行していっていただきたいと思います。

やはり、小栗会長や足立区長会長が、若手に任せたというような心意気であったからこそ、若手がやりやすい雰囲気で活動できていったのではないかとも思っていますので、ぜひとも世代を超えた信頼関係をさらに強めていっていただきたいし、こどもたちの未来に向けて邁進していっていただきたい。

ぜひこの取り組みを大湫町以外の地区にもモデル例として参考にしていただきたいと考えています。自分の地区を考えるいい機会になっていくものと思っています。大変期待しておりますので、よろしくお願いいたします。

【次第４　令和３年度夢づくり市民活動補助事業（追加募集分）】

※報告後

〇委員

夢がある活動だと思いましたが、スケールが大変大きなお話でしたので、少し戸惑いもあります。

しかし、オリンピックなどで活躍している１０代の方々を見ていますと、そういった若い時から世界に目を向けることが大事なのかなとも考えました。例えば瑞浪市内の小中学生がこの事業に関わっていただく方が居て、夢や希望を抱くことができる方が出てくると良いと思います。

スケールはだいぶ違いますが、以前、七夕祭りの会場周辺に設置するごみ箱に絵を描くといった段ボールアートの活動がありました。そういった活動と結びつけるお考えはありますでしょうか。

●トリプルクリエーターズスクワッド

ひとくちにアートと言っても、綺麗に仕上げるだけがアートではありません。様々な形があり、とりわけ今日においては、情報発信を固定されたメディアのみがしていた時代は終わり、誰もが簡単に情報や・アートを発信できる時代となりました。そこで、今回の事業のように我々のような小さな活動からデュポンアンダーグラウンドといった大きなムーブメントに繋がっていく、今回のような事業が重要になるものと考えています。より多くの市民の皆さんの気持ちを汲み取れるいい機会になるものと思っています。

またデュポンアンダーグラウンドは色々なジャンルの方々と素人も玄人も含めて集団でアートを創作していくといったところに特徴があります。素人の方は玄人の方に学んでいくといったことができます。玄人は素人に教えるといったことでお互い得るものがあり、様々な方々が参入できる仕組みとなっています。

〇委員

スケールが大き過ぎて、戸惑っているのですが、事業としてはセミナーを行われるということですが、今後のステップとしては、どのようにお考えですか。またなぜ瑞浪なのでしょうか。

●トリプルクリエーターズスクワッド

まずは、なぜ瑞浪かといえば、地元というところがあります。また、いきなり大きなことをしていこうとは思っていません。まずは事例を作ることで、外から可視化できていくものと思っています。そうすれば、そうしたことが瑞浪でもできるのかといったことが市民を始め、認知されていくことに繋がっていくものと思っています。他の地域でもアートで盛り上がっていこうとするところもありますが、デュポンアンダーグラウンドと協働していくことができるのは、なかなかないものと思っています。そうした大きなムーブメントとなるデュポンアンダーグラウンドによって全国のアーティストが瑞浪にゆくゆくは集まってくることを期待しています。繰り返しますがまずはテストケースを作りたいと思います。

〇委員

このグループとのきっかけは何だったのでしょうか。

●トリプルクリエーターズスクワッド

もともとアメリカに長期在住していた者がこの活動の発起人ともなっています。

〇委員

市民の皆さんへの還元・メリットについてお聞きしたいのですが、市民の方がそういったクリエイターの方と触れ合うことで、将来のクリエイターを育成しょうといった期待を込めた交流会なのでしょうか。もしくは、クリエイター同士の交流をしたいといったことがメインの目的なのか、お聞かせください。また、計上されている謝礼についての金額が格安に思われるので、そのあたりもご回答ください。

●トリプルクリエーターズスクワッド

職業としてクリエイターとして生業をされている方にも勿論聞いていただきたいですし、一緒になって関わっていただける方もこのセミナーをきっかけにできたらいいとは思っています。

また、謝礼等については、この企画の中心にいる者がもともとの繋がりがあって、この金額に収まっています。

〇委員

個人的には、そういったアートで長く仕事をされている方もこういったセミナーを市民のために開いていただけると良いのかなと思います。

●トリプルクリエーターズスクワッド

貴重なご意見ありがとうございます。

〇委員

こういった、新たな活動については、成果はいきなり出ないこともあると思いますから、まずはやってみていただくということも大事かと思います。

●トリプルクリエーターズスクワッド

ありがとうございます。頑張っていきます。

◇採点結果発表

３０点満点中１７．７点。基準点２１点に届かなかったが、交付・不交付の決定については、市に一任。

【次第５　閉会】

≪まちづくり推進部長より閉会のことば≫

以上